

事務事業名		大船渡市農業まつり参画事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20: 産地化をめざした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01: 農業経営の安定化					01	06	01	02	07
根拠法令											
所属	部課名	農林水産部 農林課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S40 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
	係名	農政係	電話	0192-27-3111							
			内線	345							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・大船渡市農業まつりは、昭和40年から、「農業への理解と関心を高め、市民とのふれあいを深めながら市農業の発展を図る」ことを目的に毎年開催されており、それに対し、補助金及び人的支援を行う事業。 ・農業まつりの主催は、大船渡市農業まつり実行委員会で、構成は市農協、市、市農業委員会、改良普及センター、東南部農業共済組合仙支所。 ・市は、実行委員会に対し運営費の補助金を支出するとともに、構成団体としてまつりの運営に参画し、実行委員会への出席、まつりの準備、まつり当日(2日間)の運営支援等を行っている。 ・大船渡市農業まつりにかかる事業費は、運営費の補助金のみ。					全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
実行委員会に対し、事業費の一部を補助金として拠出した。農業まつりの運営に参画した。		ア	実行委員会の回数
			回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	農業まつり準備日数
震災の影響により今年度は中止			日間
		ウ	農業まつりの開催日数
			日間
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市農業まつり実行委員会		名称	
・市民		単位	
		カ	大船渡市農業まつり実行委員会団体数
			団体
		キ	市の人口(各年度3/31現在)
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
・大船渡市農業まつり実行委員会に対し、補助金の拠出等まつりの支援を行ない、実行委員会にスムーズなまつりの運営をさせる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・魅力あるまつり運営により、多くの市民に会場にいらしていただき、農業へ関心を持っていただくとともに農作物を購入していただく。		名称	
		単位	
		サ	来場者数
			人
		シ	来場者数/市の人口
			%
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	売上額
・農作物が安定して高く売れる。			千円

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	100	100	100	100	100	100
	人件費	事業費計(A)	100	100	100	100	100	100
		正規職員従事人数	8	7	7	7	7	7
		延べ業務時間	70	70	70	70	70	70
		人件費計(B)	280	280	280	280	280	280
		トータルコスト(A)+(B)	380	380	380	380	380	380
活動指標	ア	回	1	1	1	1	2	1
		日間	3	3	3	3	3	3
		日間	2	2	2	2	2	2
対象指標	カ	団体	1	1	1	1	1	1
		人	43,209	42,575	42,158	41,684	41,334	40,537
成果指標	サ	人	4,000	4,300	5,100	4,200	3,500	4,500
		%	9.26%	10.10%	12.10%	10.08%	8.47%	11.1%
		千円	2,150	1,750	1,790	1,630	2,000	1,898

事務事業ID	494	事務事業名	大船渡市農業まつり参画事業
--------	-----	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大船渡市農業まつりは、昭和40年から、「農業への理解と関心を高め、市民とのふれあいを深めながら市農業の発展を図る」ことを目的に毎年開催されている。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 当市は耕作放棄地の率が非常に高く、有効活用が望まれているが、まとまった農地が少なく、農業の振興を妨げている。また、農業経営の従事者の高齢化が顕著であり、後継者不足も解消の見込みが立っていない。こうした状況の下、農家や市民に農業に対する前向きな、明るいイメージを浸透させるためには、これまで以上に農業まつりのような機会を大切にし、農業の持つプラス面を市民等にアピールする必要がある。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 生産者や農業関係者が市民とじかに触れ合える貴重な機会であり、市の農業活性化のために、今後とも継続するよう、多くの市民及び農業関係者から求められている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 農業まつり等を利用して、農業への理解と関心を高め、地場産品の普及に努めることは、将来的に市農業の発展につながり、農業振興(豊かな市民生活を実現する産業の振興)が図られることから、政策体系と結びつく。	
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 市は、実行委員会の一員として、また、農業振興を率先して推進する立場から、農業をテーマとして広く市民から親しまれている本事業へ積極的に関与する必要がある。	
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象は、補助対象となる実行委員会と市民全般であり、まつりの規模等により、対象を市外住民まで広げることが可能であるが、現状では規模拡大は困難であり、現状の対象・意図が妥当と考えられる。	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 来場者数は4千人程度で推移しているが、事業を継続して行い、市民への更なる浸透を図るとともに、実行委員会で、まつりを盛り上げる魅力的な企画が生まれれば、成果の向上につながる	
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 市の農業振興の推進を阻害する恐れがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 一部地域において、地域活性化のため農産物販売をメインとした事業を実施しているが、市全般を対象とし、農業に関心を持っていたくための大規模なまつりは当該事業のみである。 ☒ 他に手段がない [理由]	
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最低限の補助金を支出している。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 実行委員の構成員として、実行委員会会議出席やまつりの準備、当日のまつり運営にかかる人件費のみであり、削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 市の費用負担は、事業費全体の数パーセントに過ぎず、費用のほとんどは、売り上げ収入及び市農協の負担でまかなわれており、適正な負担配分となっている。	

事務事業ID	494	事務事業名	大船渡市農業まつり参画事業
--------	-----	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業がマンネリ化しないよう、実行委員会において、まつりを盛り上げる魅力的な企画の立案が必要									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業の継続により、市民への更なる浸透を図ることが必要。 新たな企画立案により、まつりの魅力を膨らませることが可能。 産業まつりとの合同開催とし、同じ会場で行うことにより成果が高まる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 来場者にとって、魅力あるまつりとなるような見直し・工夫が求められる。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・今後は、産業まつりと同じ場所で開催できるよう検討していく。 ・やり方や内容について、見直し・工夫をする。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
